

春山丈夫技術士 略歴紹介

[2005.6.30 作成 上田 宏]

- 1948年 浜松工専（現静大工学部）機械工学科卒
早川電機工業（現シャープ株式会社）入社
国産テレビ第1号開発に従事 後にNHKプロジェクト に出演
電化製品・液晶電卓などの開発設計・生産技術・工場展開担当
- 1964年 大阪科学技術センター主催 創造性開発コース・ゼミナール終了
市川亀久彌先生の薫陶 現在も等価変換創造工学会運営委員
- 1976年 日本IE協会 日本IE貢献賞受賞
- 1977年 在職中から大阪高等技術研修所生産管理科・日本能率協会 講師
大阪府大・機械工学科 非常勤講師
- 1988年 シャープ(株) 生産技術センター所長を最後に定年退職
- 1989年 技術士（経営工学部門）登録：第22079号
（株）創美工芸顧問 タイ・中国の海外工場立ち上げ支援 QC研修指導
龍谷大学経済・経営学部 プール学院大学・秘書科 非常勤講師
- 1991年 西安電子科学技術大学・吉林大学生産工程系 集中講義
- 1997年～（株）システックキョーワ顧問 タイ工場立ち上げ QC・ISO研修指導等
著書など



市川亀久彌：『創造性の科学』（日本放送出版協会，1970）

『創造工学』（ラティス刊，1977）に特許事例・C 辞典法など分担執筆

日本機械学会編：『ファクトリーオートメーション』（コロナ社，1987）

日本経営工学会編：『経営工学ハンドブック』（丸善，1994）分担執筆

春山丈夫：『等価変換創造工学からみたQC・VE・IE』（1986）『創造的実践の工業経営』（1994）

編著『市川亀久彌の人と業績』（2001）等価変換創造学会モノグラフ発行

『創造科学』：等価変換創造学会例会報告など

“等価変換思考による発明過程の分析”（シャープ技報，1965）

“発見学習による創造性開発”（プール学院大研究紀要36号，1996）

“等価変換理論による発明について”（工業経営研究学会 学会誌，1998）等論文多数

参考

家庭用テレビ受像機の開発について「プロジェクトX～挑戦者たち 執念のテレビ・技術者魂 30年の闘い NHK総合テレビ 2003年1月28日放送」で紹介されました。

早川電機工業の技術者・笹尾三郎氏、春山丈夫氏らは、浜松高等工業学校の学生の時（当時18歳）高柳健次郎氏の授業を受け、テレビに懸ける姿に魅せられ、家庭用テレビ受像機に鮮明な映像を写すための走査線（525本）制御システムの研究を行い、磁場で走査線を制御するための「コサイン巻による偏向コイル」を開発し、1953（昭和28）年に日本で初めてテレビ受信機（白黒テレビTV3-14T）が量産されました。

「技術のわくわく探検」<http://www.gijyutu.com/ooki/tanken/tanken2000/sharp/sharp.htm>